大阪城
2020 5/14 (木) 14069号
全港湾 西成分会
こんぺい 6647-4947

奄美と沖縄は、もう梅雨に入ったと、こう。日本列島は、南北に長いから、季節も時間差がある。暑くなってきて、半ズボンの姿もふえてきた。

政府のコロナ対策の宣言は5/末までだが、5/14(今日)、専門家の話なども聞いて、対策の内容をみなおすとか言っているが、どうなっていくのだろうか。感染者のあがってくる数が少なくなってきたので、どうする、こうするとかの話だが、PCRはじめ検査を少ししかやらないので感染数が少ないのは、子供でもわかることで、少なく出るのは当然のことだろう。

夏なので、熱中症にも気つけ、コロナにも気をつけ、今年は、この夏を越していくのは、たいへんなことになりそうです。一回目をおさえこんだという中国や韓国でも、少しゆるめると、第2波の動きもすぐ出てくるようです。日本では、一回目こわかったおさえこめるかどうかの段階です。

相手が1万分の1ミリより小さい、目に見えない生物ではない物質なので、科学でやらないと勝てないだろう

成功するか?「大阪モデル」

政府は今日、新型コロナウイルスの感染の抑制ができた特定警戒全都道府県以外の地方での緊急事態宣言解除を専門家の意見を聞いて行い、行動制限を一部緩和するなど、社会経済活動を徐々に再開する方針を新たに提示することになるようです。

その他の13の特定警戒地域にあっても3つの基準を公表して「大阪モデル」を打ち出して、達成されれば、独自の解除基準でもって「出口戦略」をはかるという吉村知事の決断であした15日からは大阪では「経済活動の再開」が段階的に図られるようです。

これで「全滅状態」の西成・センター界隈の仕事の再開の見通しも、わずかながらみえてきたことになるかもしれません。しかし先行きたいへんです。

自粛解除の動き加速化

仕事はどうなる

10万円では焼け石に水